

2024年度 恵愛会 事業報告

1. はじめに

2024年度は長年の課題であった医師体制において、内科5名体制、整形外科4名体制へ拡充でき、“病院機能の変革”をテーマに「高齢者医療・救急を支える病院機能」の強化に取り組んだ。医療事業では救急車受入れ体制の整備や病院・クリニックとの連携に加え、介護施設との連携にも力を入れた。また、10月には2024年度の診療報酬改定で新たに設けられた「地域包括医療病棟」の施設基準を取得し、高齢者に多い尿路感染症・誤嚥性肺炎・心不全・骨折患者の受入れ体制を強化した。健診事業では、新規団体との契約による人間ドック利用者の増加に加え、新たに地域の企業へ産業医を派遣する取り組みや労災二次健診の受入れを開始した。在宅事業では、引き続き聖隷富士病院や地域のサービス事業所との連携に取り組むとともに、特定看護師の育成にも力を入れた。

人件費や食材料費・水光熱費の上昇など医療機関を取り巻く環境は厳しさを増すばかりであるが、引き続き、医師含め医療従事者の採用強化に取り組み、地域貢献できる病院機能の確立に取り組んでいく。また、2025年度は法人創立80周年を迎える。これまで当法人を支えて頂いた全ての方へ感謝し、過去から未来へ繋げられるよう、「地域・事業・職員」との“繋がり”を強める年としたい。そして、法人理念である地域貢献を実現することで、経営の安定化を図っていきたい。

※各事業別の主な経営成績は以下の通りである。

(千円)

項目	予算	実績	対予算	対前年
医業収益	4,914,754	4,550,145	92.6%	102.4%
病院	4,726,810	4,372,892	92.5%	102.2%
在宅	187,944	177,253	94.3%	106.7%
医業費用	4,761,304	4,367,404	91.7%	91.0%
病院	4,610,297	4,211,703	91.4%	90.7%
在宅	151,007	155,701	103.1%	100.8%
経常利益	185,391	218,346		
病院	147,926	195,878		
在宅	37,465	22,468		
当期純利益	254,056	260,204		
病院	216,592	237,735		
在宅	37,465	22,468		

2. 聖隷富士病院

2024年度は「地域課題である高齢者救急の対応」をテーマに掲げ、病院機能の変革に取り組んだ。医師体制においては、昨年度末に循環器科医師が退職したことで心臓カテーテル治療の停止を余儀なくされた。一方で高齢者医療のニーズが高い内科（5名）・整形外科（4名）の診療体制を拡充できたことで、2024年10月に高齢者の初期・中等症医療を支える“地域包括医療病棟”を開設した。課題であった救急車の受入れでは、時間内救急の受入体制を強化するとともに、地域全体で救急受入が困難な時間帯の当番にも積極的に参画した。その結果、救急車の受入れ件数は対前年で20件/月増加した。整形外科においては、骨関節・外傷・手・脊椎など幅広い手術に対応できる体制が整い、地域医療機関との連携強化を進めた。その結果、紹介件数・手術件数は大幅に増加した。12月にはインフルエンザやコロナウイルス感染症が流行する中、職員が一丸となり感染対策を継続し、診療の維持に努めた。健診事業では、労災二次健診の再開や婦人科健診枠の増枠、午後健診の開始など体制・環境を整備した。また、地域の企業へ産業医を派遣する取り組みを新たに開始した。

2025年度は引き続き「高齢者救急の対応」を基本方針に、地域包括医療病棟の安定稼働、手術室の安定した運営や麻酔科医師の確保、健診内視鏡枠の拡大、透析センターの安定運用などに取り組んでいく。また、職員が長く働き続けられるよう、ストレスマネジメント体制の整備や各種制度の見直し、職員同士が繋がりをもてる取り組みを検討していきたい。

1. 病院機能の整備と地域連携の強化

①病床の効率的な活用

- ・病床稼働率 80%（目標 85%）
- ・地域包括医療病棟の開設（2024年10月開設）
 - ・高齢者救急（初期・中等症）の受入れ体制構築
- ・ベッド管理室の設置（2024年10月）
- ・整形入院/手術受入体制の整備
- ・介護福祉施設との連携強化
 - ・介護施設・福祉施設利用者の入院 65名/年（前年 27名/年）
- ・地域との連携強化
 - ・紹介/救急/転院による入院 522名/年（前年 343名/年）

②地域ニーズに応える外来診療体制の構築

- ・整形外科の外来診療体制拡充、地域連携の強化
 - ・外来患者数 56名/月（前年 48名/月）
 - ・紹介患者数 48名/月（前年 24名/月）
- ・健診再精密者の外来受診体制整備
 - ・健診精密紹介数 1,107件/年（前年 963件/年）

③救急医療の受入体制整備

- ・救急車受入件数 642件/年（前年 398件/年）
- ・時間内救急車受入体制の整備
- ・平日8時～9時/12時～14時の一次救急受入枠を拡大
- ・消防本部と定期的な意見交換

- ④センター機能の充実（手術、内視鏡、放射線）
 - ・手術室の環境・体制整備
 - ・整形外科手術枠の拡大 手術件数 421 件/年（前年 190 件/年）
 - ・聖隷浜松病院による診療支援継続（整形 脊椎・下肢関節、眼科 白内障手術）
 - ・健診内視鏡枠の増枠
 - ・健診内視鏡件数 632 件/年（前年 470 件/年）
 - ・CT/MRI 検査機器の有効活用
 - ・CT 検査数 7,491 件/年（前年 6,822 件/年）
 - ・MRI 検査数 3,614 件/年（前年 3,211 件/年）
 - ・夕方の紹介検査枠の拡大（週 2 日→4 日）
 - ・外部からの AI（死亡時画像診断）依頼に対する協力
- ⑤健診事業の充実
 - ・人間ドック受診者の受入れ強化
 - ・人間ドック受診者数 605 名/年（前年 354 名/年）
 - ・新規契約団体 4 団体
 - ・産業医派遣の開始（2 社）
 - ・午後健診枠の拡大、土曜日健診の実施
 - ・労災二次健診の開始
 - ・特定保健指導の充実
 - ・特定保健指導・健康相談 1,114 件/年（前年 1,040 件/年）
- ⑥在宅事業の充実
 - ・訪問看護、居宅介護支援体制の強化
 - ・特定行為看護師研修修了（1 名）
- ⑦戦略的な広報・営業
 - ・紹介数 4,893 件/年（前年 5,023 件/年）
 - ・診療体制の周知、広報（地域医療機関、消防）
 - ・医師同行による地域医療機関、消防への訪問
 - ・市民公開講座の開催（整形外科）
 - ・介護福祉施設への訪問（医療機能の紹介）
 - ・病院広報誌「**恵愛だより**」を活用した情報発信の充実
 - ・整形外科診療機能、透析、地域包括医療病棟、健診など
- ⑧安全・感染対策の向上
 - ・医療安全対策風土の醸成
 - ・医療安全巡視の実施
 - ・医療安全相互評価の実施、医療安全管理情報の月次配信
 - ・医療安全マニュアルの更新
 - ・感染対策の強化
 - ・コロナウイルス、インフルエンザ感染対策の継続
 - ・感染対策マニュアルの更新

2. 人材育成と職場環境の整備

- ①職員が成長を「実感」できる人材育成

- ・ 専門資格の取得、外部研修への参加
- ・ 聖隷福祉事業団、芙蓉協会との連携（診療支援、職員出向、合同研修）
- ② やりがいをもって働ける職場づくり
 - ・ タスクシェアの推進
 - ・ 薬剤師による病棟常駐業務の開始
 - ・ 病院リハ職員の訪問リハ応援
 - ・ 看護部内の応援体制推進（病棟間、透析、外来などへの応援）
 - ・ 臨床工学技士の業務範囲・応援体制の拡大（透析、内視鏡、手術室）
 - ・ 職員満足度調査の実施
- ③ 健康経営の推進
 - ・ ストレスチェックの実施（受検率 97.7%）
 - ・ 職員健診・ドック、特定保健指導、職場巡視、予防接種の実施
- ④ 電子カルテ稼働後の業務改善の推進
 - ・ 超過勤務 職員一人当たり 9.5 時間/月（前年 9.7 時間/月）

3. 事業継続可能な病院経営

① 医師・専門職の採用強化

- ・ 学生実習の受入、学校訪問、合同説明会への積極的な参加
- ・ 医師紹介会社と定期的な意見交換を実施
- ・ 2024 年度 採用数 37 名
 （医師 7 名、看護師 14 名、薬剤師 1 名、臨床工学技士 3 名、検査技師 2 名、管理栄養士 1 名、調理師 3 名、施設員 1 名、看護補助者 2 名、事務職 3 名）

② 年度予算の達成

- ・ 医師体制の充実（内科 5 名、整形 4 名、外科 3 名以上 維持）
 - ・ 地域ニーズに沿った病床機能への見直し（地域包括医療病棟の開設）
 - ・ 時間内救急、当日緊急入院の受入れ体制整備
 - ・ 整形外科の手術体制の整備、強化

〈病院〉

項目	予算	実績	対予算	対前年
外来患者数	418 名	379 名	90.7 %	99.0 %
外来単価	23,787 円	23,607 円	99.2 %	97.4 %
入院患者数	100 名	94 名	94.0 %	123.7 %
入院単価	50,155 円	50,550 円	100.8 %	87.9 %
病床稼働率	85 %	80 %	94.1 %	123.1 %
職員数	283 名	283 名	100.0 %	95.6 %

〈健診〉

項目	予算	実績	対予算	対前年
健診受診数	3,725 名	3,772 名	101.3 %	121.8 %
健診単価	20,457 円	19,004 円	92.9 %	102.3 %

※ 各種ドック、一般健診、職員健診に限る。

3. 在宅(訪問看護ステーションけいあい、居宅介護支援事業所けいあい)

トリプル改定に伴う整備や記録・保険請求等の ICT 化を取り入れ業務改善を目標に、安定した運用を目指した。

訪問看護の職員体制においては、訪問看護師 1 名の採用と 1 名の退職があった。減少したままの看護職員数の体制での支援が続いている。在宅看取り数は、訪問看護 31 名・居宅介護支援事業所 13 名。昨年より 10 名少なく、入院し最期を迎える方が多かった。新規依頼は受け入れを継続しているが、人員不足と開始に繋がらなかった依頼者数は、年間で訪問看護では 28 名、居宅介護支援事業所 10 名。可能なかぎり依頼を受けることを継続している。

又、特定行為看護師が 2 名体制となり、専門管理加算を年間 28 回算定ができています。さらに地域に貢献できる取り組みを行っていきたい。

業務に追われるだけでなく、職員のモチベーションが向上し働き続けられる職場を目指した業務改善や採用が課題となる。

【在宅事業理念】

利用者が住み慣れた地域社会や在宅において、安心して安全に暮らせるよう、地域に根ざした質の高いサービスを提供します。

【2024 年度重点施策】

1. 在宅事業の充実
2. 人材育成の推進を図り、質の高いサービスを提供する
3. 労働環境の整備
4. 社会貢献への取り組み

〈訪問看護・居宅〉

項 目	予 算	実 績	対予算	対前年
介護保険 利用回数	674 件	582 件	86.3%	97.3%
医療保険 利用回数	550 件	564 件	110%	90.9%
訪問看護 単価	12,758 円	11,692 円	91.6%	91.8%
居宅 利用回数	160 件	151 件	94.3%	114%
居宅 単価	15,356 円	14,444 円	94%	94.7%

【2024年度の主な行事】

行 事 内 容	実 施 日
新入職員オリエンテーション	4月 1日
新人防災研修	4月 2日
監事監査	5月 17日
理事会	5月 22日、1月 9日、3月 19日
中堅研修(年6回)	5月 30日、7月 25日、8月 29日、 10月 18日・19日、12月 13日、 3月 7日
緊急連絡(安否確認)訓練	6月 7日
評議員会	6月 10日、1月 22日、3月 19日
新人研修(年2回)	6月 14日～15日、1月 24日
聖隷福祉事業団監査室関連法人外部監査	6月 18日
役職者研修(年2回)	6月 26日、3月 26日
2年目研修	7月 19日
ストレスチェック	7月 29日～8月 16日
すくすく保育園静岡県福祉指導課立入検査	7月 29日
診療放射線の安全利用に関する研修	8月 1日～16日
勤務意向調査・職員満足度調査	8月 1日～30日
医療安全研修(年2回)	4月 24日、2月 20日～3月 12日
市民公開講座	8月 24日
2次性骨折予防管理料に係る研修	9月 15日～10月 15日
総合防災訓練	9月 19日
安全衛生委員会講習会	10月 1日～31日
接遇・マナー研修(デスクネット開催)	10月 1日～31日
感染研修(年2回、デスクネット開催)	8月 20日～23日・9月 9日～13日、 3月 1日～3月 31日
すくすく保育園児童育成協会立入調査	10月 18日
第21回院内学会	10月 28日
患者満足度調査(透析・入院)	11月(1ヶ月間)
患者満足度調査(外来)	11月 7日、11日
聖隷福祉事業団施設基準内部監査	11月 11日
東海北陸厚生局施設基準に係る適時調査	11月 15日
安全運転講習会(デスクネット開催)	12月 4日～24日
保健所立入検査(放射線部門)	12月 10日
保健所立入検査・消防立入検査	12月 13日
糖尿病療養支援委員会職員勉強会	1月 4日～31日
聖隷福祉事業団監査室フォロー監査	2月 5日
夜間火災訓練	2月 20日
医療ガス保安講習(デスクネット開催)	2月 3日～28日
臨床MRI安全運用のための講習会	3月 4日～21日